

# 燕三条 花めぐり



## 大河津分水桜並木 Map C-2

約10kmにわたってソメイヨシノが咲き誇る大河津分水路は、日本さくら名所100選の地。4月には「分水おいらん道中」が開催され、絢爛豪華な衣装をまとったおいらんの華やかな行列が練り歩く。

燕市観光協会 ☎0256-64-7630  
燕市五千石市内 駐50台



## 分水駅の桜 Map C-2

ライトアップされた、見事な夜桜を楽しめます。JRの臨時列車「分水夜桜号」も運行されます。

## 大河津分水で桜鑑賞と歴史を学ぶ

## 八王寺の大白藤 Map C-4

(県天然記念物指定)  
樹齢350年以上の大白藤。幹の周囲7m、枝張りは20~30mにも及ぶ。5月上旬ごろから純白の花が無数に垂れ下がる光景は圧巻。

燕市観光協会  
☎0256-64-7630  
燕市八王寺962 安了寺境内  
臨時駐車場が開設されます

## 保内公園 Map C-5

保内地区は植木の里と呼ばれ、園芸業者が多く集まる地域。園内には「熱帯植物園温室」や日本庭園、休憩所にお茶室などが整備され、豊かな緑に囲まれてゆったりと過ごすことができる。



## オープンガーデン Map C-5

造園職人の自宅が集まる保内地区では、緑のオープンガーデン看板が設置された庭を自由に散策できる。庭の場所が掲載された散策マップは保内公園で配布している。

保内公園 緑の相談所  
☎0256-38-5240  
燕三条市下保内3714 ☎9:00~17:00  
無料 駐80台  
毎週火曜日(祝日のときは直後の休日以外の日)、年末年始(12/29~1/3)

花や植物に憩いを求めて

## ヒメサユリ(ヒメサユリの小径) Map E-7

高城城址へと続く登山道にあるヒメサユリの小径。春から初夏にかけて可憐なピンク色のヒメサユリの群生に出会える。

三条市経済部営業戦略室  
☎0256-34-5511(代) 燕三条市森町地内  
駐160台



## 森の湯小屋さぎの湯 しらさぎ荘 Map E-4

その昔、この温泉に白鷺がケガをした足を浴して元気に飛びたつたという。その姿を見た村人たちが入り始めたといわれ、伝えている温泉。お肌の新陳代謝を促進するという、低張性・弱中性・冷鉱泉でメタケイ酸を多く含んでいる。日帰り入浴設備の他、リラックスルーム、ドーム式天体望遠鏡などが整備されている。

アクセス 北陸自動車道 三条燕ICから車で約30分  
しらさぎ荘 ☎0256-45-0888  
燕三条市矢田888 ☎9:00~20:30(温泉入浴)  
入館料1回(入浴料金含む)11歳まで100円、12~64歳400円、65歳~300円 駐45台  
※毎月第2木曜 ※設備点検日  
☎http://niigata-bs.sakura.ne.jp/si/sirasagi/



## 白鷺がケガをした足を浴し癒した温泉



## しらさぎ森林公園 花菖蒲 Map E-4

人と自然のふれあいを目的とした憩いの森林公園。6月中旬ごろから、約2万株の花菖蒲が咲き誇る。

三条市建設部建設課  
☎0256-34-5511(代)  
燕三条市矢田727 駐50台



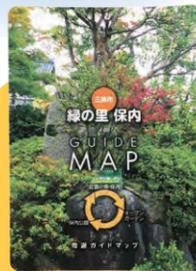
## しらさぎ森林公園のホテル

しらさぎ森林公園では、6月中旬ごろにホテルが観賞できる。  
三条市経済部営業戦略室  
☎0256-34-5511(代)  
燕三条市矢田727 駐50台



## 道の駅 庭園の郷 保内 Map C-5

庭園内は保内地区の植木職人が丹精こめてしつらえた約600種の庭木が庭園を彩る。春の花色、夏の深緑、秋の紅葉、冬の雪景色と、一年を通して表情の移り変わりを楽しめる。庭木は購入することも可能。(詳細は7、8ページのとおり)



散策に便利な案内マップがあります。

## 大河津分水の誕生



写真提供  
国土交通省信濃川河川事務所

大河津分水路 信濃川本流

稼動するエキスカベーター。梯子状に連なったバケットが回転し斜面を掘削する。



平成23年に通水した可動堰



岩盤を掘削するスチームナビ(蒸気式/パワーショベル)。

## 約3,000本の桜並木は大河津分水完成を記念し、植栽された

日本一の大河・信濃川は、ひとたび豪雨ともなれば洪水となり越後平野一帯は大水害に見舞われた。その惨状は良寛が詩に詠み、替女が語り伝えてきた。中でも明治29(1896)年に発生した「横田切れ」と呼ばれる大水害は1ヶ月にわたる長期湛水を引き起こし、この地域に大きな損害を与えた。

しかし先人たちは水害に屈せず、享保年間より燕や三条をはじめ多くの人々が大河津分水の掘削を幕府や政府に請願し続け、明治42(1909)年ついに本格的な工事が始まることとなった。

掘削土量約2,880万m<sup>3</sup>(10tダンプに積むとその列が地球1周)は日本で前例のない大工事である。加えて、開削した分水路を塞ぐ地すべりの発生などもあり工事は困難を極めた。工事には延べ1千万人の人力とエキスカベーターやスチームナビなどの外国から輸入した大型土工機械を駆使し、13年の歳月をかけて約10キロメートルの大河津分水路と水量をコントロールする堰を完成させた。

以来、洪水の被害は減少し、腰までつかる湿田は豊かな穀倉地帯に変わり、現在も可動堰と洗堰の操作によって越後平野を洪水から守っている。

堤防上にはこの大事業を永遠に記念し、明治・大正時代に植栽された約3,000本のソメイヨシノが立派な桜並木となり、4月には「分水おいらん道中」が開催される。

## 補修工事の総責任者として可動堰完成に貢献



あおやま あきら  
青山 士

昭和初期に行われた補修工事において、部下である宮本武之輔を支え、僅か4年で可動堰(現:旧可動堰)を完成させた青山士。その完成にあたって石碑に刻んだ「万象二天意ヲ覚ル者ハ幸ナリ」「人類ノ為メ國ノ為メ」の言葉は棟方志功をも感動させた。なお、青山士はパナマ運河の建設に携わった唯一の日本人であり、東京を流れる荒川放水路工事の指揮を執った人物でもある。旺盛なるチャレンジ精神と清廉潔白な青山の生き方は技術者の有るべき姿として今なお語り継がれている。

## 信濃川大河津資料館 Map D-2



ミニシアターや洪水氾濫シミュレーション、大河津分水のパノラマ模型、年表などを通して信濃川の歴史や大河津分水を学べる。4Fの展望室からは延々と続く桜並木をはじめ越後三山や佐渡島も望める。

アクセス 北陸自動車道 三条燕ICから車で約20分  
信濃川大河津資料館  
☎0256-97-2195  
燕市五千石 ☎9:00~16:00  
無料 駐50台  
休月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始  
☎http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/